

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進
施策	03	生涯学習、スポーツの条件整備

**目的**

人生80年を前提に区民が充実した生涯を送れるように、区民各世代の学習意欲に応え、生涯学習活動、スポーツ活動などの場と機会の確保、充実を図ります。

**対象・手段**

対象：区民

手段：生涯学習、スポーツ活動の場と機会の確保、充実を図ります。

人々が社会や地域で学んだことを、地域で生かせる環境を整備します。

身近な地域で学習・スポーツ活動ができ、それを通して地域づくりに参画できる仕組みをつくります。

**施策の方向**

区民がいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができる生涯学習環境の充実を図ります。また、スポーツ施設の整備や学校体育施設の開放を推進するとともに、民間との協力関係を促進し、スポーツ活動の場と機会の拡充を図ります。

一人ひとりの自主的な学習スポーツ活動の促進を図るとともにグループの育成やグループ間の交流を推進します。

図書館資料や施設の充実等を進めて、図書館機能の強化を図るとともに、各種図書館との協力・連携体制を確立し、区民の自主的、主体的学習を支援します。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
大学や民間団体との連携による講座(学校)	(平成10年度) 2校	(平成19年度) 5校	(平成19年度) 15団体	目標を400%達成しました。
文化等学習支援バンク登録者数	(平成13年度) 199人53団体	(平成19年度) 500人120団体	(平成19年度) 195人25団体	実績は基準値から4人28団体の減となっています。
スポーツ指導者バンク登録者数	(平成13年度) 361人	(平成19年度) 500人	(平成19年度) 278人	実績は基準値から83人の減となっています。

指標名の定義：講座を実施している学校数、登録者及び団体数

**成果指標**

指標名	定義	目標水準
各課が提供する講座数の総数	前年度講座総数実績からの増加数	( 毎 ) 年度に ( 5講座増 ) の水準達成
文化等学習支援者バンク登録者	文化等学習支援者バンク登録者数	( 平成19 ) 年度に ( 250人 ) の水準達成
区立図書館の子どもの利用登録率	区立図書館に利用登録している子どもの割合	( 平成19 ) 年度に ( 小学生以下 ) ( 65% ) の水準達成

**施策の達成状況**

		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
施策成果指標	目標値1	講座	101.00	103.00	122.00	
	実績1	講座	98.00	117.00	120.00	
	目標達成率1 = /	%	97.03	113.59	98.36	
	目標値2	人	250.00	250.00	250.00	
	実績2	人	128.00	175.00	195.00	
	目標達成率2 = /	%	51.20	70.00	78.00	
	目標値3	%	65.00	65.00	65.00	
	実績3	%	59.40	50.00	59.20	
	目標達成率3 = /	%	91.38	76.92	91.08	

### 主な取組み

職員の地域派遣事業(ふれあいトーク宅配便)の実施 ほぼ1課1講座が開設されメニューの充実を図っています。  
 屋外運動場や民間運動施設を活用したスポーツ活動の場の確保 調査を実施し、民間1施設、他自治体1施設の利用が可能となりました。  
 生涯学習指導者・支援者バンクの充実 (財)新宿区生涯学習財団事業、区内団体への講師派遣を行っています。  
 総合型地域スポーツ・文化クラブの育成 既存3事業を統合し、学校開放事業と併せて地域の総合力を結集する仕組みを構築しています。  
 「新宿区子ども読書活動推進計画」の推進

### 課題

生涯学習・スポーツ社会の実現のためには、場の確保・整備、プログラムサービスの充実、指導者の養成・活用、団体の育成等が不可欠です。  
 特に、区内に新たな生涯学習・スポーツ施設の建設が困難な状況を鑑み、学校跡地の積極的な活用と既存学校施設の改築に併せて、地域開放を視野に入れた新校建設を推進していくことが必要です。

### 評価

総 合 評 価	
<p>総合評価をBとした理由は、個々に課題はあるものの、現状を踏まえた取組みとして一定の効果を上げているといえると判断したからです。</p> <p>サービスの負担と担い手                      この施策におけるサービスは、場の確保・整備については行政が、プログラムサービスの充実、指導者の養成・活用は(財)新宿区生涯学習財団または民間事業者(指定管理者を含む)が担うものです。                      また、利用者や団体間の育成・連携の仕組みづくりについては、行政・地域・区民が一体となって行う必要があります。</p> <p>適切な目標設定                      目標設定は、数値だけでは評価しにくいいため、事業の質や区民満足度の観点から今後改善が必要です。                      効果的・効率的な視点                      この施策は、行政だけで実現できるものではないため、学校・民間・地域等と連携して有機的・効率的に推進する必要があります。</p> <p>目的の達成度                      この施策は短期的に成果があがる事業ではありませんが、個々の事業において一定の成果は上がっています。しかし、さらに区民ニーズに応えていく必要があります。</p>	B

### 今後の取組み・改革の方針

区民が100%満足する生涯学習・スポーツ環境を整備することは困難ですが、民間・地域・他自治体等と連携を強化するとともに、区内のあらゆる資源を有効に活用し、地域の総合力を結集した生涯学習・スポーツ社会の実現を目指します。  
 この施策は、新宿区総合計画の基本施策「-2- コミュニティ活動の充実と担い手の育成」「-4- 生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実」等に引き継いで取り組んでいきます。

### 施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
職員の地域派遣事業の推進(ふれあいトーク宅配便)	B	108		
屋外運動場や民間運動施設を活用したスポーツ活動の場の確保	B	110		
生涯学習指導者・支援者バンクの充実	B	112		
総合型地域スポーツ・文化クラブの育成	B	114		
子ども読書活動の推進	B	116		